

## 2005年12月 重大ニュース

### 2030年の経済規模、9割の都市圏で縮小

経済産業省は全国269の都市圏について、2030年時点の経済規模予測を発表した。東京、大阪、名古屋など三大都市圏では、その地域での総生産額が2000年と比べて1割前後伸びるものの、政令指定都市圏でも札幌と北九州は減少、全体では9割近い都市圏で減るとの予測。少子高齢化で人口が減って生産・消費活動が低下し、地域経済を直撃するようすが浮き彫りになった。(2日)

### イラク自衛隊派遣、1年再延長決定

政府は臨時閣議で、12月14日に期限が切れるイラクへの自衛隊派遣を1年間再延長する基本計画の変更を決定した。派遣延長は2回目で、派遣期間は2006年12月14日まで。新計画は、陸上自衛隊が活動するイラク南部サマワで治安維持にあたるイギリス軍とオーストラリア軍の動きを見極めることを明記。派遣期間内でも両軍が引けば、陸上自衛隊を撤退させる可能性を示した。(8日)

### アシモ、速いよ

ホンダは、二足歩行型ロボット「ASIMO(アシモ)」が、IC通信カードを携帯した人を案内したり、飲み物を載せたトレーを運んだりできるようになったと発表した。運動能力も高まり走るスピードも2倍の時速6キロになった。(13日)

### さいたま市の全小学校に警備員

不審者による犯罪から子どもを守るため、さいたま市は3学期が始まる1月10日から、市立の全小学校100校と養護学校1校に警備員を配置することを決めた。(21日)

### 人口、初の自然減

05年に生まれる赤ちゃんの数が亡くなった人の数を下回り、日本の人口が自然減に転じる見通しであることが厚生労働省の人口動態統計の年間推計でわかった。1899年に今の形で統計を取り始めてから初めてで、日本人だけだと1万人、日本に住む外国人の自然増減を含めても4000人減る。(22日)

### 政府予算案決定

政府は06年度一般会計予算の政府案を決定した。総額は79兆6860億円。一般歳出は1・9%減の46兆3660億円で、小泉政権が続けてきた「抑制型」を維持した。高齢化で増え続ける社会保障関係費が財政を圧迫する構図が強まっているなか、計1兆円強の少子化対策関連予算が盛り込まれた。(24日)

### 日朝国交正常化交渉、1月にも再開

日朝両政府は北京の両国大使館で2回目の政府間交渉を行い、02年10月以来途絶えていた日朝国交正常化交渉を1月にも再開することで合意した。(25日)